

平成30年4月17日
船工30第39号

SEA JAPAN 2018 展示会参加報告

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団の助成を受け、国土交通省及び関係団体の協力により13回目の開催となったシージャパン2018展示会にジャパンパビリオンを形成し、展示及び関連イベントを実施した。

主催者発表（速報値）によると、国内外の関連企業580社の出展があり、入場者総数は20,226人と前回を上回る来場者があった。

前回同様、国土交通省をはじめ官庁、関連団体、関連企業より構成する「SEA JAPAN 2018海事クラスター企画委員会（座長：国土交通省海事局船舶産業課 峰本健正舟艇室長）」を設置し、日本の海事クラスターによる展示や国際海事セミナー、船舶海洋技術セミナー、学生イベント、海洋研究開発機構（JAMSTEC）の深海潜水調査船支援母船「よこすか」及び有人潜水調査船「しんかい6500」の見学会等を実施した。

展示会初日の開会式では、国土交通省海事局大坪新一郎次長による開会の挨拶において安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが披露された後、業界関連団体代表者を交えたテープカットが行われた。

また、開会式に続き実施された国際海事セミナーでは、第1部として日本財団 海野光行常務理事及びノルウェー シモンセン貿易産業副大臣による基調講演が行われた。続く第2部では、「東南アジア海事サミット」を初めて開催し、日本舶用品検定協会 坂下広朗顧問がモデレータを務め、東南アジアの船主協会代表と国土交通省海事局大坪次長及び当会小野副会長によるパネルディスカッションを実施し、東南アジアと日本との今後の協力関係について議論を行った。本セミナーには約500人が参加した。

同日夜には国土交通省と共催でグランドニッコー東京台場にて国際海事セミナーレセプションを開催し、高橋克法国土交通大臣政務官の来賓挨拶があった。レセプションでは、セミナーで講演したシモンセン貿易産業副大臣や東南アジア海事サミット登壇者と当会会員企業等我が国海事関係者約80名が交流を行った。

ジャパンパビリオンのテーマゾーンにおける展示については、「Green Innovation & Digitalization -日本海事クラスターの総合力-」のキャッチフレーズの下、環境技術、海洋開発、IoT等のテーマ毎に展示スペースを設け、模型・パネル・映像等の展示を行った。

このうち、海洋資源開発テーマでは、(国研)海洋研究開発機構（JAMSTEC）、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、国際石油開発帝石（INPEX）、

日本海洋掘削㈱（JDC）等も前回同様参加した。また、今回新たに設置した内航フェリーテーマでは、（一社）日本長距離フェリー協会会員企業8社が参加し、新鋭フェリーの模型展示や就航予定の新造フェリーの船内体験ができるVR（バーチャルリアリティー）体験型展示があった。

一方、ジャパンパビリオンのメンバーズゾーンでは、過去最大となる当会会員企業73社が参加した。

展示会場には、あきもと司国土交通副大臣や日本財団 海野光行常務理事などのVIPの視察や国内外から多数の来場者があり、前回より盛況であるとの声がジャパンパビリオン出展者から多数聞かれた。

展示会2日目の12日には「国際会議」にて山田会長が「世界の海事産業へさらなる貢献を目指して ～日本船用業界の挑戦～」と題した講演を実施したところ、主催者である海事プレスによれば約400人が聴講した。

さらに、2日目午後から3日目にかけて実施した「学生向けイベント」では、全国各地の大学より約80名の学生を招き、㈱MTI田中社長及び渦潮電機㈱小田社長をはじめ業界関係者による講演会、会員企業OB等との交流会、JAMSTEC調査船の見学に加えて、展示会のガイドツアー等を実施し、参加学生の業界への理解を深める企画を実施した。

展示会最終日の13日には、国土交通省及び（一財）日本海事協会と共催で「船舶海洋技術セミナー」を実施し、当会からは新スマートナビゲーションシステム研究会によるISO規格案の概要等について説明を行った。

加えて、今回初の試みとして（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て、展示会最終日の13日に深海潜水調査船支援母船「よこすか」及び有人潜水調査船「しんかい6500」の一般公開を行ったところ、1,430人が参加し、日本の技術の粋を集めた船舶の乗船体験ができる機会となった。

また、シージャパンに初出展したアイスランド海事関係者と当会海外漁船市場開拓検討WGメンバーとの交流会を4月12日に展示会場内で実施した。在日アイスランド大使館関係者も出席する中、アイスランド企業から事業内容の紹介があり、日本とアイスランドとの漁業・漁船に関する情報交換を行った。

さらに、従来から実施している韓国造船機資材工業協同組合（KOMEA）と当会会長・副会長をはじめとする会員企業との交流会を4月12日および13日に実施した。

なお、展示会の模様は4月12日のテレビ朝日ニュースでも紹介された。

各種データ等は別紙のとおり

1. シージャパン2018展示会概要

- ・ 開催期間：平成30年4月11日（水）～13日（金）（3日間）
- ・ 会 場：東京国際展示場（東京ビッグサイト東5及び6ホール）
- ・ 主 催 者：UBMジャパン㈱
- ・ 来場者数：20,226人（主催者発表速報値）
- ・ 出展社数：580社（主催者発表）

2. テーマゾーンの概要（日本財団助成事業）

- ・我が国海事クラスターの有する技術力を内外に発信するため、国交省、関連団体、大学、海運会社等で構成する「SEA JAPAN 2018 海事クラスター企画委員会」にて検討の上、我が国で研究・開発した製品・技術等に関する総合的な展示を行った。

①展示エリア：750㎡（ジャパンパビリオン内）

②統一テーマ：Green Innovation & Digitalization

－日本海事クラスターの総合カー

③展示方法：海運、環境技術、海洋開発、IoT等のテーマ毎に展示スペースを設け、模型・パネル・映像等の展示を行った。

このうち、海洋資源開発テーマでは、(国研)海洋研究開発機構（JAMSTEC）、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、国際石油開発帝石㈱（INPEX）、日本海洋掘削㈱（JDC）等も前回同様参加。また、今回新たに設置した内航フェリーテーマでは、(一社)日本長距離フェリー協会会員企業8社が参加

3. セミナーの実施概要（日本財団助成事業）

- ・国際海事セミナー／東南アジア海事サミット

①日時：4月11日(水) 10:00～12:30

②場所：東京ビッグサイト国際会議棟6階

③内容：シージャパン海事クラスター企画委員会主催

a)国土交通省、日本財団及びノルウェー貿易産業漁業省による基調講演

b)東南アジア海事サミットとして、アジアの新興5カ国（インドネシア・シンガポール・タイ・フィリピン・マレーシア）の船主協会代表と国土交通省海事局大坪次長、当会小野副会長によるパネルディスカッションを実施

④参加者数：約500名（主催者による情報）

- ・船舶海洋技術セミナー

①日時：4月13日(金) 10:30～16:30

②場所：シージャパン会場セミナールーム

③内容：国土交通省、日本海事協会、当会の共催

環境及びIT技術に関する動向や開発技術等に関する紹介。当会は新スマートナビゲーションシステム研究会の成果発表を実施

4. 学生イベントの実施概要（日本財団助成事業）

- ①日時：4月12日(木)～13日(金)
- ②場所：シージャパン会場
- ③内容：船用工業説明会等を通じて関係を構築した9大学の学生77名を招き、展示会の見学、海事分野の有識者等による講演会、JAMSTEC研究調査船の見学、会員企業における参加大学OB等との交流会等を実施
- ④講演会：我が国海事産業及び船用工業の現状と将来動向に関する講演会
日時：4月12日(木) 13:15～14:45
場所：東京ビッグサイト・会議棟1階「101会議室」
講演者：田中康夫氏(株MTI 代表取締役社長)
小田雅人氏(渦潮電機(株) 代表取締役社長)
ルバンデニス氏(ヤンマー(株) エンジン事業本部システム開発部)
藤澤奈緒美氏(古野電気(株) 研究部航法システム研究室室長)

5. JAMSTEC研究調査船の一般公開（日本財団助成事業／協力：JAMSTEC）

- ①日時：4月13日(金) 10:00～16:00
- ②場所：東京港有明西埠頭（東京ビッグサイト隣接の岸壁）
- ③内容：JAMSTEC 深海潜水調査船支援母船「よこすか」及び有人潜水調査船「しんかい6500」の一般公開
- ④参加者数：1,430名

6. メンバーズゾーンの概要（自主事業）

- ・当工業会出展予定社数：73社（過去最高） ※前回出展者：65社
 - ・出展者の申込総面積：1,548㎡（過去最高）
- （出展企業）

(株)赤阪鐵工所、アズビル(株)、伊吹工業(株)、(株)ウエイクフィールド、(株)ウッズ、潮冷熱(株)、渦潮電機(株)、(株)宇津木計器、EIZO(株)、エコマリンパワー(株)、(株)エヌワイ、(株)オーケーエム、ガイスリンガー(株)、神奈川機器工業(株)、川崎重工業(株)、極洋電機(株)、栗田工業、(株)ケーイーアイシステム、(株)高工社、(株)コンヒラ、(株)サクシオン瓦斯機関製作所、(株)ササクラ、(株)サタケ、JFEエンジニアリング(株)、JRC S(株)、島田燈器工業(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、(株)湘南工作所、(株)シンコー、(株)関ヶ原製作所、ダイキンMRエンジニアリング(株)、大晃機械工業(株)、(株)大晃産業、大同特殊鋼(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、(株)田邊空気機械製作所、中国塗料(株)、中日輪船商事(株)、(株)帝国機械製作所、(株)テクノカシワ、寺崎電気産業(株)、東京計器(株)、東京日進ジャバラ(株)、東部重工業(株)、ナカシマプロペラ(株)、(株)浪速ポンプ製作所、ナブテスコ(株)、新潟原動機(株)、西芝電機(株)、(一財)日本気象協会、日本船用エレクトロニクス(株)、日本ペイントマリン(株)、日本無線(株)、ヒエン電工(株)、(株)日立ニコトランスミッション、富士電機(株)、富士貿易(株)、古河電工産業電線(株)、兵神機械工業(株)、ボルカノ(株)、(株)マツイ、眞鍋造機(株)、(株)ミズノマリン、三井造船(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、ムサシノ機器(株)、(株)村山電機製作所、山科精器(株)、(株)ヤマトメタル、ヤンマー(株)、郵船商事(株)、横河電子機器(株)

7. その他

- ・山田会長による講演

演 題：「世界の海事産業へのさらなる貢献を目指して ～日本船用業界の挑戦～」

日 時：4月12日（木） 14：40～15：30

場 所：東京ビッグサイト・会議棟6階

参加者数：約400人（主催者による情報）

- ・国際海事セミナーレセプション

日 時：4月11日（水） 18：00～2：30

場 所：グランドニッコー東京 台場 29階銀河

参加者数：約80人

- ・アイスランド企業と当会・海外漁船市場開拓検討WGとの交流会

日時：平成30年4月12日（木） 12：30～14：00

会場：ビッグサイト東6ホール商談室（3）

アイスランド側参加者：8名（大使館、造船、漁船用コンテナ、繊維ロープ企業）

日本側参加者：25名（当会海外漁船市場開拓検討WGメンバー）

- ・第13回日韓船用工業懇談会

日 時：平成30年4月12日（木） 19：00～21：00

場 所：ヒルトン東京お台場ホテル

出席者：13名

（韓国側：5名）

Mr. Park, Yoon-so (KOMEA会長) / Mr. Goo, Ja-young / Mr. Yang, Ho-chan

Mr. Kang, Jae-jong / Mr. Chung, Chang-soo

（日本側：8名）

山田会長 / 木下副会長（ダイハツディーゼル） / 小野副会長

古野副会長 / 木下副会長（阪神内燃機工業） / 藤原副会長

北村専務理事 / 安藤常務理事

3. 関連写真



国交省 海事局大坪次長 開会あいさつ



オープニングテープカット



日本財団 海野常務理事 基調講演



国際海事セミナーの様子



東南アジア海事サミット



国際海事セミナーレセプション



国際会議 山田会長 講演





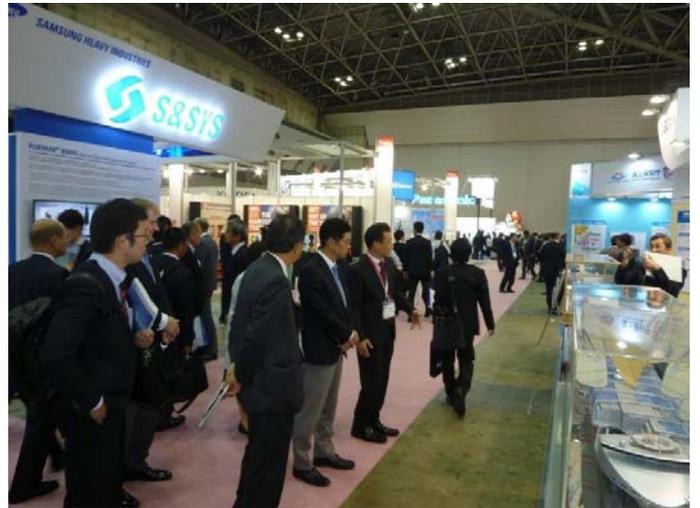
日本パビリオン



テーマゾーン展示の様子



あきもと国土交通副大臣ご視察



日本財団 海野常務理事ご視察



JAMSTEC「よこすか」一般公開



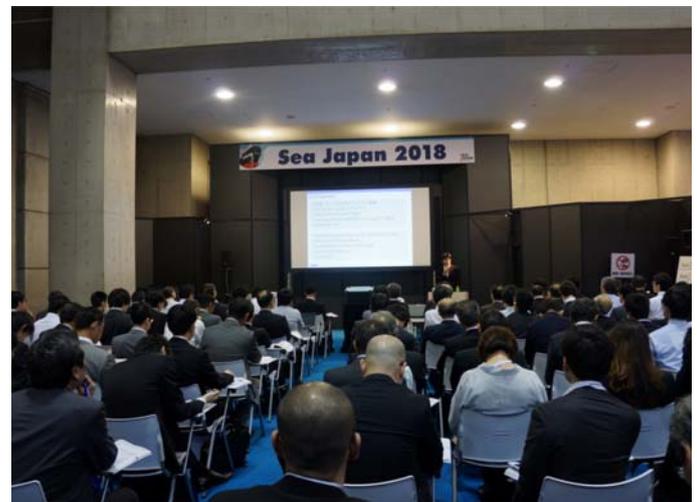
学生イベント MTI田中社長 ご講演



学生イベント会員企業との交流



学生イベント日本パビリオン見学ツアー



船舶海洋技術セミナー



第13回日韓船用工業懇談会



アイスランド企業との交流会

以上